

湯田小学校だより

平成29年 2月 1日
2 月 号
山口市立湯田小学校

地域協育ネットコーディネーター

『地域協育ネット』とは、幼児期から中学校卒業程度までの子どもたちの育ちや学びを地域ぐるみで見守り、支援するための、概ね中学校区を一まとまりとした山口県独自の仕組みです。

湯田中学校区では、湯田小・中学校それぞれのコミュニティ・スクール、楠木保育園、山口保育園、湯田幼稚園、湯田地域交流センターのほか、多くの支援者（団体）等との連携を図っています。

そして、学校と支援者（団体）等との連絡調整を担う役割を行うのが『コーディネーター』です。これまで、鶴岡正佳さんお一人に、小中のコーディネーターをお願いしていましたが、今回、小学校を中心に活動していただく方として、金重宗香さんにもお願いすることになりました。



学校には、多くのゲストティチャーやボランティアに来ていただいておりますが、児童の指導を行いながら、教員がすべての対応をすることは大変なことです。地域参観日の日には、接遇や連絡調整等で大活躍していただきました。

また、調理など家庭科実習では、安全かつ効率的に進めていくために、子どもに細やかな指示や助言を行うことが必要です。5年生の調理実習では、ボランティアを募るとともに、ご自身もボランティアに入っていました。

インフルエンザにかからないためには・・・



現在、A型が流行っており、1月、すでに4学級で学級閉鎖の措置を取りました。しかし、今のところ、学級以外での感染が多かったようで、全校的には落ちています。まだ、一人もインフルエンザを発症していない学級もあるほどです。

インフルエンザの潜伏期間は1～2日と言われますが、発症する1日前からうつしてしまう可能性があるそうです。そして、低温乾燥が続くと、免疫力が落ちやすくなり、インフルエンザにもかかりやすくなるそうです。本校で学級閉鎖が始まった直前、低温乾燥が続いていましたね。

免疫力低下する原因は、このほか、体力の低下、不規則な生活などもあります。うがい、手洗いの慣行、マスクの着用と同時に、免疫力を高めるよう、お子さまの生活にもお気をつけください。

あいさつ運動

2/1（水）、3（金）、6（月）の3日間、湯田中学校生徒徒会が小学校まで来て、一緒にあいさつ運動を行います。（6日は湯田地区のあいさつ運動でもあります。）朝、少しでもお時間のある方は、この3日間、校門前でのあいさつ運動にご参加ください。あいさつ運動に参加の場合、この時間帯の駐車は可能です。



昨年度の様子